情　報　公　開　文　書

研究の名称	帝王切開で出生した子の3歳での発達遅延疑い(エコチル調査より)
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人　富山大学
研究責任者	【研究責任者】 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・助教　土田　暁子 【共同研究機関・研究責任者】 富山県立大学・看護学部・准教授　　三善　郁代
研究の概要	【研究対象者】 エコチル調査に参加登録された母子で、エコチル調査コアセンターより提供されたデータセットに登録された方。 【研究の目的・意義】 帝王切開にて出生した子の 3 歳での精神発達遅滞が高率であることは明らかになっています。本研究ではこの関係を詳細に調べるため、アウトカムは 3 歳時点における[Ages and Stages Questionnaires® 第 3 版 (ASQ-3)] に設定してこれらの関係が認められるかどうかを調べます。 【研究の方法】 エコチル調査で 2011-2014 年にリクルートされた全妊婦から得られた情報に基づき解析を行います。本研究のための新たな情報収集は行いません。 【研究期間】 実施許可日　～　2026(令和 8 年)年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 本研究の成果は、関連する学会や学術雑誌で発表されます。なお、本研究の実施に際しては、利用する情報からお名前、住所などの個人情報は削除します。研究成果の発表においても個人情報は利用しません。 【利益相反の状況】 公開する利益相反はありません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法(他機関への提供の有無)	エコチル調査質問票から得られた以下の情報を用います。 【分娩様式、3 歳児の精神神経発達(コミュニケーション・粗大運動・微細運動・問題解決・個人的/社会的)、年齢、妊娠前 BMI、学歴、世帯収入、喫煙、飲酒、妊娠合併症、身体・精神疾患既往歴、出産歴、婚姻状況、仕事、児の性別、在胎週数、妊娠判明時の気持ち、児の先天異常、出生体重】 上記情報項目を他機関へ提供することはありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学長　齋藤　滋
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示します。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学　学術研究部　医学系　公衆衛生学講座 助教　土田　暁子
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話:076-415-8842　FAX:076-415-8843 E-mail:ecojimu@med.u-toyama.ac.jp 富山大学　学術研究部医学系・公衆衛生学講座 助教　土田暁子